



山新3P賞を受賞して

常務理事・事務局長 佐藤 藤 彰

2017年1月30日、第60回山新3P賞の表彰式が行われました。山新3P賞は、地域社会の「平和」（ピース）と「繁栄」（プロスペリティー）、そして「進歩」（プロGRESS）に功績のあった個人、団体、企業にスポットを当て、県民とともに顕彰しようと山形新聞社・山形放送が提唱し、1958年に制定されたものです。山形いのちの電話は、山新3P賞「平和賞」を受賞することができました。受賞理由は、「自殺予防を主な目的に、1994年に開局し、毎日午後1時から午後10時まで電話相談を受け付けるボランティア組織である。日本いのちの電話連盟に加盟し、2009年には鶴岡市庄内分室を開いた。研修を受けた相談員が1日3交代で2回線を担当し、相談員不足などの危機もありながら、これまでに15万2千件以上の声に応じ、心のSOSに寄り添っている。」でした。

表彰式では、寒河江浩二山形新聞経営会議議長から、「本県の活性化と躍進の原動力になり、県民に希望を与えた。一層飛躍し、県勢発展の一翼を担う活躍をしてほしい」と激励の言葉がありました。そして、古澤茂堂理事長に表彰状と副賞の賞金100万円、東北芸術工科大学峯田義郎名誉教授が制作したブロンズ像が贈られました。

山形いのちの電話開設にあたって5年間の準備期間があったと聞きますが、多大なるご尽力をいただいた亡き初代事務局長に就かれた山形大学の石塚先生、そして初代理事長の田中先生も、この度の受賞をととても喜んでくださっていると思います。22年間もこの活動を継続できたのは、いのちの電話の趣旨に賛同し経済的に援助くださる後援会会員の皆様、電話相談担当の無償ボランティア相談員の皆様、相談員養成に関わってくださる先



生方、役員の皆様、そしてマスコミ関係や行政関係の皆様など、多くの関係者の皆様方のご理解とご支援の賜物とこの場をお借りして感謝申し上げます。

平和賞を受賞した意味を改めて考えてみますと、これまで22年間続けてきたことへの評価の面もありましょうが、いのちの電話を必要とする方がおられる限り、今後も相談活動をつないでいってください、命をつないでいってくださいという激励の賞だと受け止めるべきでしょう。

副賞で高価な「電話対応研修ツール」を2台購入させていただきました。この機器を十分に活用し、電話相談の充実に向けた研修を積み重ねてまいります。いのちの電話を必要とする方のために電話による援助活動を続けてまいりますので、今後とも皆様方のご支援ご協力をよろしくお願いいたします。

XX

山形いのちの電話 会報55号

目 次

◆山新3P賞を受賞して	1 p
◆『山新3P賞』の表彰式に参加して ..	2 p
◆電話相談員養成講座のご案内	3 p
◆インフォメーション	4 p

『山新3P賞』の表彰式に参加して

山形いのちの電話 広報委員

この度第60回山新3P賞の平和賞（ピース）を受賞致しました。

この賞は地域の平和（ピース）に尽力した個人、団体、企業を顕彰するものであり、山形いのちの電話に対しては22年間の活動実績、そして今後の活動への期待を込められた賞と考えます。

山形県の自殺率は、全国で第6位という高い位置にあります。特に人間関係に悩み、20代～50代という働き盛りの方々からの相談が多くなっております。この層の人達が安心して電話に向かえる体制作りが今後の課題だと思います。

「一人じゃない、そばにいるからね、勇気を出して電話をして！」その対策の一つに※あんしんカード（緑のカード）の活用と工夫が必要になる



記念ブロンズ像

でしょう。そのカードは、いつでも手が届き目につきやすい公共的な場所に置かれている等の工夫を考えていこうと思います。

私達は、時には重い内容に心が乱れ、受け止めきれずに悩むこともあります。そんな方々の心の叫びに寄り添えるよう、継続的に研修を重ねなが

ら日々精進しております。この度の受賞を機に『死にたいからではなく生きたいから、自殺を止めてほしいから電話をしてくれたのだ！』その思いをいつも心に留め、寄り添い耳を傾けられる相談員でありたいと改めて思いました。

繁栄賞にはオリエンタルカーペット(株)が受賞。受賞者の講演会では「ものづくりとことづくり」と題して、国内はもちろん海外においても活動の場を広げ山形をアピールしたいとの考えを熱く語っておられました。

進歩賞は山形県立鶴岡北高等学校が受賞。昨年のNHK学校音楽コンクール・高校の部で最高賞である金賞に輝いており、合唱を披露してくれました。その歌声に会場の空気は一変し、聞く者の心を震わせました。顧問の百瀬先生のお話、「毎日の練習が本番、今日が最後明日はない、全て出し切る。その思いで毎日練習に向かっています。」今後の増々の活躍に期待しております。



※あんしんカード
（緑のカード）

山新3P賞とは

山新3P賞は、地域社会の「平和」（ピース）と「繁栄」（プロスペリティー）、そして「進歩」（プログレス）に功績のあった個人、団体、企業にスポットを当て、県民とともに顕彰しようと山形新聞・山形放送が提唱、1958年に制定したものです。

あなたの「力」を貸してください!!

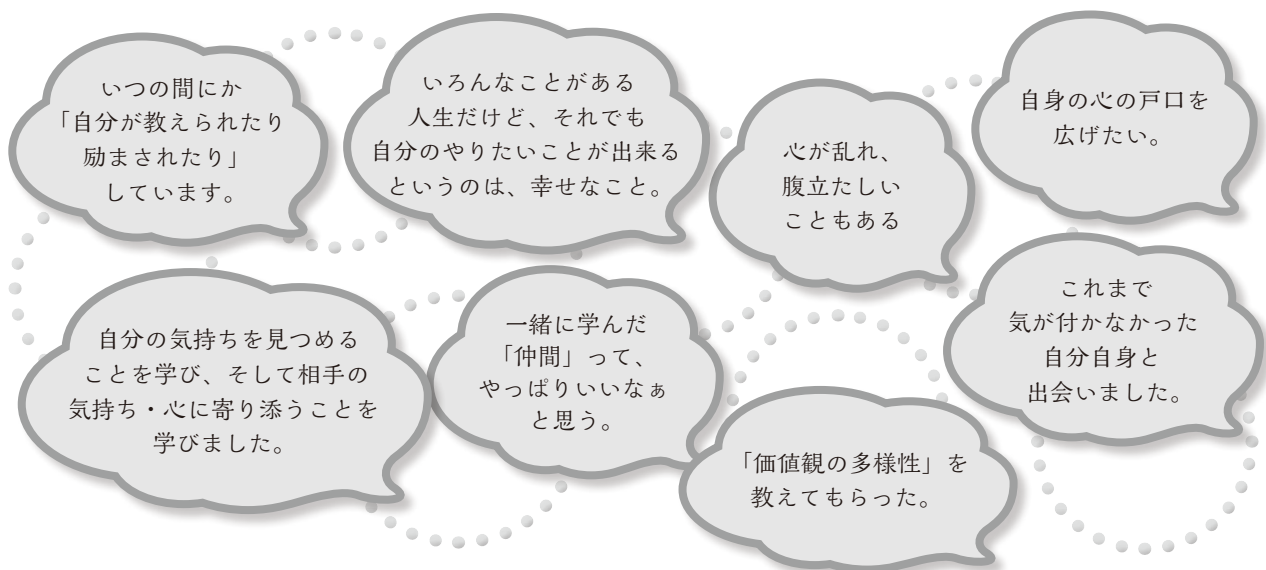
第20期 電話相談員養成講座のご案内

研修は、自分を見つめ直し、良き仲間を見つける機会でもあります。

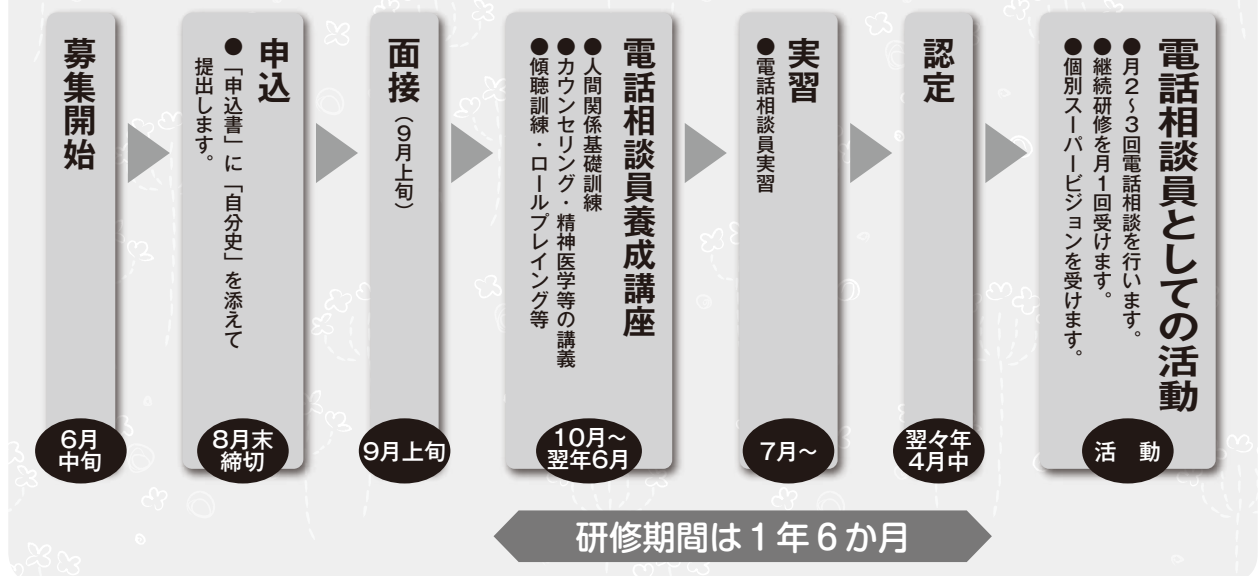
いのちの電話とは

いのちの電話は、自殺予防を主な目的とした電話相談です。ひとりひとりの「いのち」を大切にする立場から、不安や苦しみに悩んでいる方のよき隣人として、電話での対話を通し、援助していこうとする民間のボランティア活動です。

相談員になってみてどう感じているか？



電話相談員になるには



詳細は「山形いのちの電話」のホームページをご覧ください。お問い合わせは「山形いのちの電話」事務局までお電話下さい。(事務局執務時間 平日午前10時～午後4時)

★INFORMATION★

いのちをうたうコンサート
(第15回山形いのちの電話チャリティーコンサート)

日時 **12月29日(金)** 午後6時30分開演
会場 **山形グランドホテル 2F サンリバー**
チケット お一人様 10,000円
(軽食・お飲物付、税込)



出演者(左から)
須藤恵美子
高橋 寛
高橋まり子
増川 大輔

※チケット代金の一部を「山形いのちの電話」の活動資金とさせていただきます

年末特別賛助金・寄付のお礼
総額 **3,516,146円**

多くの皆様よりご協力をいただきました。
本当にありがとうございました。

(株)本間利雄設計事務所	100,000	N T T山形グループ	135,520
(株)三浦板金製作所	600,000	千歳グループ親交会	100,000
古澤 茂堂	100,000	(株)山形新聞社	100,000
高島電機(株)	100,000	山形蔵王ライオンズクラブ	100,000
大沼 俊彦	300,000	いのちの電話後援会	400,000
いのちの電話後援会	400,000	他の皆様方	(敬称略)
長谷川弘美	100,000		

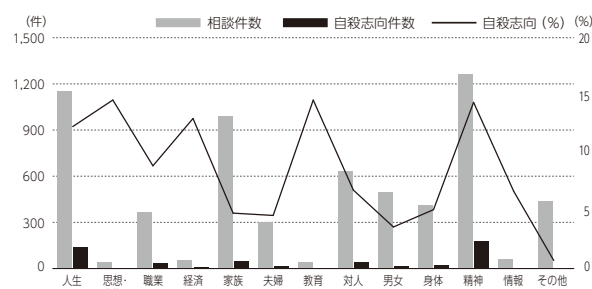
毎月10日は自殺予防いのちの電話！

自殺予防いのちの電話 (フリーダイヤル)

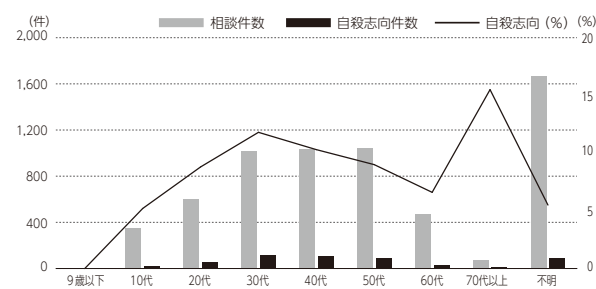
時期 **2017年 4月～2018年 3月**
時間 **午前8時から24時間対応**

TEL 0120-783-556

2016年1～12月の受信統計



総件数 6,252件 うち自殺志向件数 525件



事務局日誌

- | | |
|----------------------------|------------------------------|
| 2016年 | 8日 事務局会議 |
| 11月4日 事務局会議 | 10日 自殺予防いのちの電話
県自殺対策合同研修会 |
| 5日 18生危機トレーニング
19期生・開校式 | 17日 財務委員会 |
| 10日 自殺予防いのちの電話
役員会 | 21日 拡大運営委員会 |
| 11日 運営会議 | 28日 評議員選任解任委員会 |
| 15日 広報委員会 | 3月7日 事務局会議 |
| 19日 相談委員会総会 | 8日 自殺対策研修会 |
| 21日 広報委員会
研修委員会 | 10日 自殺予防いのちの電話
役員会 |
| 22日 山形県ひきこもり支援会議 | 11日 19期生・後期講座第2回目 |
| 12月3日 19期生一泊研修 | 23日 広報委員会 |
| 7日 事務局会議 | 4月4日 研修担当者会議(福島) |
| 9日 運営会議 | 7日 内部監査
事務局会議 |
| 10日 自殺予防いのちの電話 | 8日 19期生・後期講座第3回目 |
| 29日 山形いのちの電話チャリティーコンサート | 10日 自殺予防いのちの電話 |
| 28・29日 電話相談学会(東京) | 12日 運営会議 |
| 12月3日 事務局会議 | 15日 18期生認定式 |
| 10日 自殺予防いのちの電話 | 17日 研修委員会 |
| 11日 運営会議 | 18日 理事会 |
| 12日 相談委員会 | 20日 広報委員会 |
| 21日 研修委員会 | 22日 相談委員会 |
| 29日 山形いのちの電話チャリティーコンサート | 5月10日 自殺予防いのちの電話
事務局会議 |
| 2017年 | 12日 役員会 |
| 1月10日 自殺予防いのちの電話 | 13日 19期生・後期講座第4回目 |
| 12日 事務局会議 | 17日 運営会議 |
| 28日 19期生・後期講座第1回目 | 22日 研修委員会 |
| 30日 山新3P賞授賞式 | 26日 いのちの電話連盟総会(東京) |
| | 27日 いのちの電話事務局長会議(東京) |
| 2月3日 役員会 | |
| 6日 県一般指導監査 | |

新役員名簿

顧問(1名)

相馬 健一

理事(15名)

古澤 茂堂(理事長) 長谷川憲治(後援会長)
本間 利雄 末廣 晃二 助川 暢 矢吹 海慶
境澤栄美子 国井 富彦 灘岡 壽英 栗原 浩一
小野 葉子 後藤 茂 菅原 和夫 小野みどり
佐藤 藤彰(常務理事・事務局長)

監事(2名)

伊藤 吉明 大沼 俊彦

評議員(20名)

遠藤栄次郎 熊谷 真一 三浦孝太郎 鈴木 功修
井上 弓子 古川 直子 千歳 毅 沼野 慈
波多野保夫 大浦 正人 齋藤 哲也 富士盛良一
和田 多聞 伊藤 和子 金田由利子 石川貴代子
竹川 敏雄 種村 信次 中山 真一 久松 玄徳

評議員選任・解任外部委員(2名)

市村 克朗 島貫 新平

社会福祉法人 山形いのちの電話

事務局 〒990-8691 山形中央郵便局私書箱第99号
電話/023-645-4377(事務用) FAX/023-645-7795
発行人/古澤 茂堂 編集/広報委員会

※この広報誌は、共同募金からの助成で作りました。

編集後記

広報誌55号をお届け致します。手に取って頂きありがとうございます。その中の何か一つでも心に響いて下されば幸いです。55号は山新3P賞受賞を取り上げました。この活動を支えて下さる沢山の方々に感謝し、これからも心の声に耳を傾ける活動を続けていきたいと思ひます。